

	28	29	30	31
量の見込み	517	532	542	546
うち低学年	363	375	383	382
うち高学年	154	157	159	164
確保方策	518	532	542	546

28年4月の利用希望(低学年)

490

28年度の学童保育の利用希望(継続在園者+新規申込者)の実態は、計画策定時に見込んだ「量の見込み」と大きくかい離している。  
(見込では、363に対し、実際は490と、約35%の増)

↓

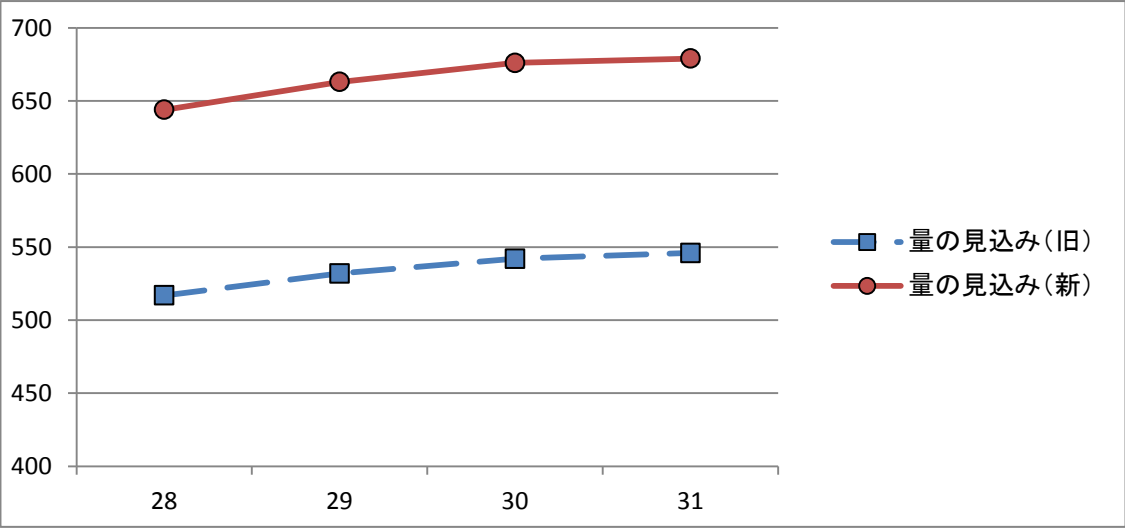
28年度の「量の見込み」の値を28年度の実数に置き換えたうえで、29年度以降の「量の見込み」を再検討する。  
・各年度の低学年ニーズを、当初の見込みより35%上乘せする。  
・なお、高学年ニーズについては、現時点では当初の見込みからの明確な変化は見られないので、当初の見込みのままとする。

量の見込み(旧)

	28	29	30	31
量の見込み	517	532	542	546
うち低学年	363	375	383	382
うち高学年	154	157	159	164

量の見込み(新)

	28	29	30	31
量の見込み	644	663	676	679
うち低学年	490	506	517	515
うち高学年	154	157	159	164



## 確保方策について

確保方策については、27年度から順次着手している新規整備の学童室（今後の予定を含む）を踏まえ再設定した。

当初、確保方策の設定にあたっては、各室の面積上の受け入れ上限を基準として設定していたが、今回からは、定員を基本としつつ、弾力的な受け入れも見込み、各室とも「定員+5名」で計上している。

	施設数	定員	定員+5	新規開設(29年度は予定)
平成27年度	9	365	410	-
平成28年度	12	455	515	中央B、塚越東B、南町C
平成29年度	16	595	675	北町C、塚越B、中央東B、錦町B

	28	29	30	31
量の見込み(新)	644	663	676	679
確保方策	515	675	685	685

